

11月28日(月)～30日(水)は、資料のくん蒸作業のため文書館が休館となります。

施設名	展覧会・イベント	日時・場所	費用・定員・申し込み等
田淵行男記念館 ☎72・9964	堀勝彦写真展 樹々よ	☎10月12日(水)～12月27日(火) 9:00～17:00 場階展示室	☎要入館料
	堀勝彦さんと館長 中田信好の スペシャル対談	☎11月6日(日)15:30～16:30 場階展示室	☎要入館料 ☎20人(先着順) ☎10月25日(火)から電話で
貞享義民記念館 ☎77・7550	くらふとのわ・笑・和展	☎10月22日(土)～30日(日) 9:00～17:00 (最終日は15:00まで) 場1階企画展示室	☎無料(常設展は有料) 《ワークショップ》 10月23日(日)、26日(水)、 28日(金)～30日(日) ☎1,000円 ☎不要
	フォトサロンなかがや写真展	☎11月2日(水)～13日(日) 9:00～17:00 場1階企画展示室	
	金子書道教室・瑞風篆刻会 輝書展	☎11月19日(土)～25日(金) 9:00～17:00 (最終日は15:00まで) 場1階企画展示室	☎無料(常設展は有料)
11月19日(土)・20日(日)は開館を記念して入館無料。期間中は展示解説を行います。	アートクラフトフェスティバル IN 安曇野 2022	☎10月29日(土)～11月3日(木・祝) 9:00～17:00 (最終日は15:00まで) 場2階展示室 《クラフト村》 ☎11月1日(火)～3日(木・祝) 場多目的ホール	☎要入館料 
	友の会 手仕事くらぶ 来年の干支の押絵をつくりました！ ☎細田イチ子さん	☎11月15日(火) 9:30～12:00 場オリエンテーションルーム	☎1,300円(一般) 1,100円(友の会会員) ☎15人(先着順) ☎ピンセット、はさみ、おしぼりタオル、 ☎10月25日(火)から電話 または美術館へ直接
穂高陶芸会館 ☎82・6750	穂高陶芸クラブ陶芸展 カラフルな焼き物たち	☎11月5日(土)～6日(日) 9:00～16:30	☎無料
	秋の親子陶芸教室	☎11月12日(土) 午前の部 9:30～ 午後の部 13:30～	☎保護者1,040円 中学生以下830円 ☎各回親子7組(先着順) (1組最大4人まで) ☎10月25日(火)から電話で
豊科郷土博物館 ☎72・5672	友の会戦時生活展 友の会絵手紙展	☎11月12日(土)～27日(日) 9:00～17:00 (最終日は16:00まで) 場2階展示室	☎要入館料
安曇野高橋節郎 記念美術館 ☎81・3030	紅葉鑑賞茶会 お点前 裏千家あづみの会	☎11月12日(土)13:00～ 場主屋	☎要入館料 ☎50人(先着順) ☎不要
文書館 ☎71・5123	パネルディスカッション 今、安曇野から平和を思う ①基調講演「相手を理解すること～上原良司の 思想を手がかりに～」 ☎大串潤児さん(信州大学人文学部教授) ②パネルディスカッション パネリスト：大串潤児さん、矢野司さん(市教 育委員会指導主事)、豊科高校、穂高西中学 校の皆さん	☎11月20日(日) 基調講演 13:30～15:30 パネルディスカッション 14:30～15:30 (開場13:00) 場堀金公民館講堂	☎無料  ☎10月24日(月)から電話・ ファクス(71・5127)・電 子メール(bunshokan@ city.azumin.nagano.jp) いずれかで

芸術の秋！ 各種コンサート情報

☎文化課 ☎71・2463



▲9月14日に開催した0歳からのミニコンサート

■0歳からのミニコンサート

☎11月18日(金)①10:00～10:30 ②11:00～11:30(開場30分前)
場穂高会館講堂 ☎齊藤涼花さん(ハープ) ☎大人のみ100円
☎各回25組50人(先着順)
☎10月24日(月)から文化課へ電話で

■東京藝術大学音楽学部ミニコンサート

☎11月13日(日)13:30～15:00
場三郷公民館講堂 ☎無料 ☎150人(先着順)
☎10月24日(月)から11月11日(金)に文化課へ電話で



齋藤涼花さん

ミュージアムギャラリートーク・講座情報

☎文化課 ☎71・2463

■ミュージアムギャラリートークリレー 2022

各館の学芸員、スタッフが作品や作家のエピソードを交えて解説します。各館の受付で申し込みください。参加館など詳細は市HPをご覧ください。お問い合わせください。
☎10月22日(土)～11月6日(日) ☎入館料

■第8回朗読会「おしゅん」

☎11月23日(水・祝) ①午前11時～ ②午後2時～(開場30分前)
場貞享義民記念館2階シアター夢道場
☎森のおうち お話しの会
☎要入館料 ☎各回30人(先着順)
☎10月25日(火)から貞享義民記念館(☎77・7550)へ電話で

■あづみのミュージアム講座 2022

①11月11日(金)18:30～ ②25日(金)18:30～
場市役所3階会議室306
☎①碌山美術館学芸員・安曇野ちひろ美術館学芸員
②安曇野高橋節郎記念美術館学芸員・絵本美術館 & コテージ森のおうち館長
☎無料 ☎各回20人(先着順)
☎10月24日(月)から文化課へ電話で

コラム 市誌編さんだより
作家白井吉見は長編小説「安曇野」で、安曇野のイメージを次のように書いています。
見渡す限り、紫雲英の花で埋もれ、そこかしこに土蔵の白壁がちらほらする。大地主もなく、貧農もない、多くは勤勉な自作農で、家のつくりにも、それらしいおちつきがある。川という川に水が溢れ、葦がしげり、よききりが鳴きたてる。豊かな水田地帯が目につかぶようです。しかし、安曇野には畑もあれば山もあります。そこにはさまざまなる人の暮らしがあり、一概に語ることはできません。
明科地区の犀川右岸の山の斜面には、いくつもの集落が点在しています。そのひとつの柏尾

第5回 明科柏尾の「風の神」

市誌編さん専門調査会
民俗部会 専門調査員 福澤昭司
地区で春の彼岸の中日に「風の神」という行事が行われていました。顔を描いた紙をかぶせ着物を着せ、手には米のおひねりを持たせた藁人形を作り、大日様にお供えします。みんなでそのお堂に集まり、「舍利礼文」を唱えてから、お堂の裏に人形を立てて悪疫を払います。「風の神」は、善光寺街道周辺のムラで行われることが多く、明科地域の東川手・中川手では似た行事が広く行われていました。
このように、同じ安曇野でも地域によって特徴ある風景を見ることができま



柏尾地区「風の神」

速報 安曇野公演決定！

チュイチュイ 左手のバイオリン弾き

■令和5年1月21日(土)・22日(日)
■豊科公民館ホール



公開稽古

☎11月18日(金)19:00～
場豊科公民館ホール ☎無料
☎10月26日(水)から事務局へ電話で
場劇空間夢幻工房事務局 ☎026・284・6430
文化課 ☎71・2463

公演の詳細情報は
右記2次元コードから

